多田良雄の42.195

Vol.19

今回は、大好きな「肯定的な言葉の力」について書かせていただきます。誰にでも有ると思います、事の大小は有れ、自分の言葉によって新しい運命が拓けた体験として、「あの人と付き合いたい」「あの学校に合格したい」「この大会で優勝したい」「あの資格を取るんだ」「仕事での目標を達成させるんだ」等々・・・言葉からスタートして実現した事がたくさん有るはずです。これらの事は、まず「思う」ことから出発し、「思い」が強くなればなるほど言葉となり、それに向けて行動、努力するようになっていった結果だと思います。

20年来の友人からよく、電話で「最近どう?」と事あるごとに聞かれます。なぜなら佐賀県の親友で、めったに会うことが出来ない間柄だからです。その時、「良雄は必ず絶好調!と答えているよ」とある時教えてくれました。親友は、「その絶好調という言葉が聞きたくて電話する時も有るんだ」という話でした。考えてみれば、確かに絶不調の時でも意識して「絶好調」という言葉で返していました。その言葉を使うと絶不調でも絶好調になってくるから不思議なものです。

実はたった今、この原稿を書かせてもらっているそばで、社員の鈴木君が「やってやれないことはない」と言葉に出してくれていました。工事の工程の事だったらしいのですが・・・すごくいい響きだったので、即座に反応させてもらいました。そんなたった一言ですが、すごく耳に入ると気持ちがいいものです。

人間の言葉というのは不思議なもので、どんな困難な事でも、どんな無理と思えることでもそれを打ち破る事が出来る人智を超えた偉大な力を秘めているものだと思います。常に肯定的なプラス思考の発言を心掛けていると、自然と行動までも前向きになり、自らの前向きな言葉に励まされて幸運を招き寄せる事が出来るものだと思います。逆に、何でも否定的に言わないと気のすまない人もいます。「無理だ」「限界だ」「駄目だ」「出来そうもない」「自信がない」・・・謙遜されて言葉に出す人もいるかもしれませんが、これらの言葉は、言った自分とそれを聞かされた相手にとっては、「できない、やれない」という負の感覚をもたらし、うまくいくものもいかなくなるような気がします。言葉というのは、相手に伝わるだけでなく、自分の耳からも自分に入ってくるものです。要するに人のみならず、自分をも動かす不思議な力を持っていると考える事ができそうです。

しかしながら、やっぱり弱気で元気のない時は、マイナス発想になりがちです。自分でも気おつけなければならない事は、「言葉には力が有る」ということをしっかりと自覚しておき、時にマイナスに、弱きに思ったとしても「決して口に出さない」ということが言えるかもしれません。こんなことを整理し、書かせていただくだけでも新たに、「肯定的な言葉の力」について再認識出来たことは、幸せな事だと思います。ありがとうございました。

平成二十二年　一月吉日　多田良雄